

# SHARP®

## インフォメーションディスプレイ

形名

# PN-C703C

# PN-C603C

**取扱説明書**

# HDMI

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

**この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(3ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

# もくじ

安全にお使いいただくために	3	基本的な操作	19
使用上のご注意	5	リモコン / 本機のボタンで操作する	19
付属品を確認する	7	各種設定メニュー	21
動作条件	7	メニューの基本操作	21
各部の名前	8	メニュー項目の詳細	22
設置について	10	コンピューター画面の調整について	25
機器の接続	11	機能制限設定 (特別機能)	26
電源の接続	12	コンピューターで本機を制御する (RS-232C)	27
ケーブル処理のしかた	13	接続のしかた	27
スタンド穴保護用カバーの付けかた	13	通信仕様	27
リモコンの準備	14	通信手順	27
電池の入れかた	14	RS-232C コマンド一覧表	28
リモコンで操作できる範囲	14	故障かな?と思ったら	29
電源の入/切をする	15	アフターサービスについて	31
電源を入れる / 切る	15	仕様	32
タッチ操作	16	設置時の注意事項 (ご販売店・設置業者様用)	37
タッチ操作	16		
タッチペンについて	18		
その他の機能について	18		
使用上のご注意	18		
レーザーについて	18		

ペンソフトについては、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。(PN-C703Cのみ)

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

## 電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。  
HDMI 入力端子、D-sub 入力端子、RS-232C 入力端子

## お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様まで相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。  
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**図記号の意味** (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いもの下敷きしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

付属の電源コードは AC100V 専用です。  
(PN-C703C のみ)

指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機の裏ぶたを外さない。改造しない。

内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。

火災や感電の原因となります。本機の上や近くに花瓶など、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。

(PN-C703C のみ)



アースを接続する。

アースが接続されないうちで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。

本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アース接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

## ⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

(PN-C703C のみ)

**!** 電源コードは、必ず付属または指定のものを使用する。付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

**!** 電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。

**⊘** 電源コードは、タコ足配線しない。タコ足配線をする、過熱により火災の原因となることがあります。

**!** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

**⚡** 火災や感電を防ぐために、次のことを守る。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

**⊘** 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。発熱や発火の原因となることがあります。

**⊘** ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

**⊘** うつ伏せ、あお向け、逆さまにして使用しない。熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

**⊘** 上にものを置いたり、上に乗ったりしない。倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

**⊘** 風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

**⊘** 画面を強く押ししたり、衝撃を与えたりしない。画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

**⊘** 画面を先のとがった物で押さない。破損や故障、けがの原因となることがあります。

**⊘** 硬いものでこすったり、たたいたりしない。破損してけがの原因となることがあります。

**⚡** 移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

**!** 通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。)

**⚠️** 乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- プラス (+) とマイナス (-) の向きは、表示に従って正しく入れてください。
- 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
- 消耗したときは、速やかに交換してください。
- 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
- 乾電池を廃棄するときは、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

**!** 乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となることがあります。

**⊘** 本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。低温やけどの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

- ・ コンピューター起動時は、画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動させてください。
- ・ タッチパネルを接続しているコンピューターに他の USB 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に USB 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合があります。
- ・ 2 台のディスプレイを接続したコンピューターで 2 台のタッチパネルを使用することはできません。プライマリーモニターとして設定されたディスプレイのタッチパネルのみ動作します。

## お手入れのしかた

必ず電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

### ◆キャビネットの部分

- ・ 汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- ・ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・ ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ・ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげることとなります。

### ◆画面の部分

- ・ 画面の表面は、柔らかい布（レンズクロスやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつかますのでご注意ください。
- ・ 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- ・ 画面の保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。
- ・ 赤外線受発信部が汚れると正しく動作しない場合があります。汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- ・ 赤外線受発信部の内部にほこりがたまると、赤外線の発信や受信が正しく行えず動作不良になります。内部に入ったほこりの清掃は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼ください（有償）。

ツメ、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでください

## 電磁波妨害に注意してください

- ・ 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

周囲温度は 5℃～ 35℃の範囲内でご使用ください

## 低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ・ ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・ 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

## 直射日光が当たる場所で使用しないでください

### 熱気は避けてください

- ・ 直射日光が当たると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・ 温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・ 液晶や部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

## 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- ・ 急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

## 長時間ご使用にならないとき

- ・ 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 海外では使用できません

- ・ 本機を使用できるのは日本国内だけです。  
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

## 結露（つゆつき）について

- ・ 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

## 使用が制限されている場所

- ・ 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

## LED バックライトについて

- ・ 本機に使用している LED バックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

## 連続稼働時間と保証について

- ・ 当製品は、1 日 16 時間以内での使用時間を前提に設計されています。1 日 16 時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

## 使用上のご注意

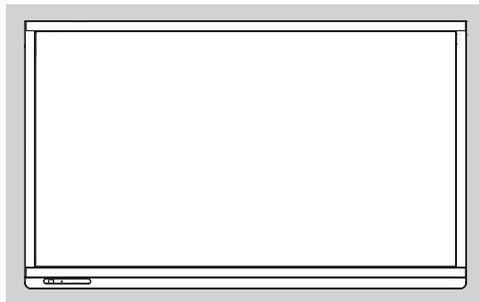
### 取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- インテル、Celeron、Intel Core 2 Duo は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- AMD、AMD Sempron、AMD Athlon およびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

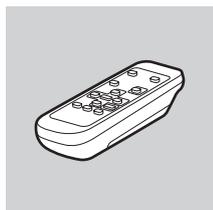
# 付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

## 本体:1台



## リモコン:1個



- リモコン用乾電池(単3形):2本
  - CD-ROM(ユーティリティディスク):1枚
  - セットアップマニュアル:1部
  - 保証書:1部
  - タッチペン:1本
  - トレー:1個
  - トレー取付ネジ(M3):5個
  - イレーザー:1個
  - USB延長ケーブル(約3m):1本
  - ケーブルクランプ(貼付式):2個
  - スタンド穴保護用カバー:2枚
  - 形名シール:1枚
  - ブランクシール:1枚
- 前面のSHARPロゴを隠したいときは、上から貼ってください。
- (PN-C703Cのみ)
- 電源コード(AC100V用・約3m):1本

- ※ CD-ROM 内のソフトウェアの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。
- ※ AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJA104WJPZ) を使用してください。(PN-C703Cのみ)

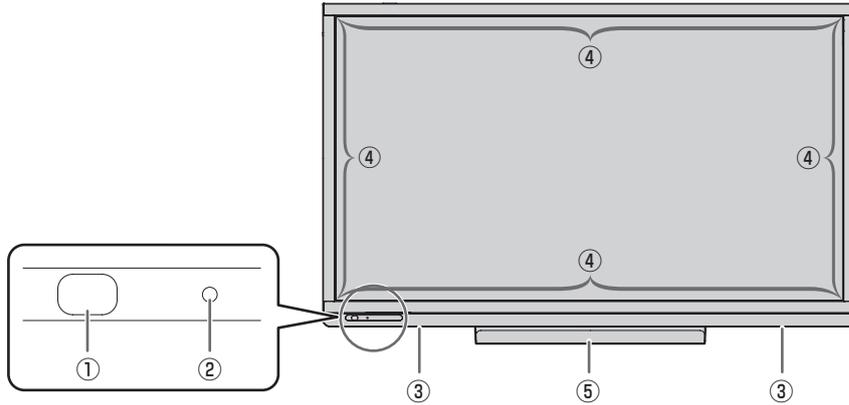
# 動作条件

コンピューター	USBポート(2.0 準拠)を搭載し、1920×1080の解像度が出力できるPC/AT互換機
OS	Windows 7 (32ビット版/64ビット版)、Windows 8 (32ビット版/64ビット版)、Windows 8.1 (32ビット版/64ビット版)
CPU	インテル Celeron または AMD Sempron 1.6GHz 以上 インテル Core 2 Duo または AMD Athlon II X2 2.8GHz 以上を推奨
メモリー	2GB 以上
ハードディスク	空き容量 200MB 以上 (データ保存のための空き容量が別に必要)

タッチパネルを使用するには、本機のUSBケーブルをコンピューターに接続する必要があります。  
タッチパネルは、Windows 標準ドライバーで動作します。

# 各部の名前

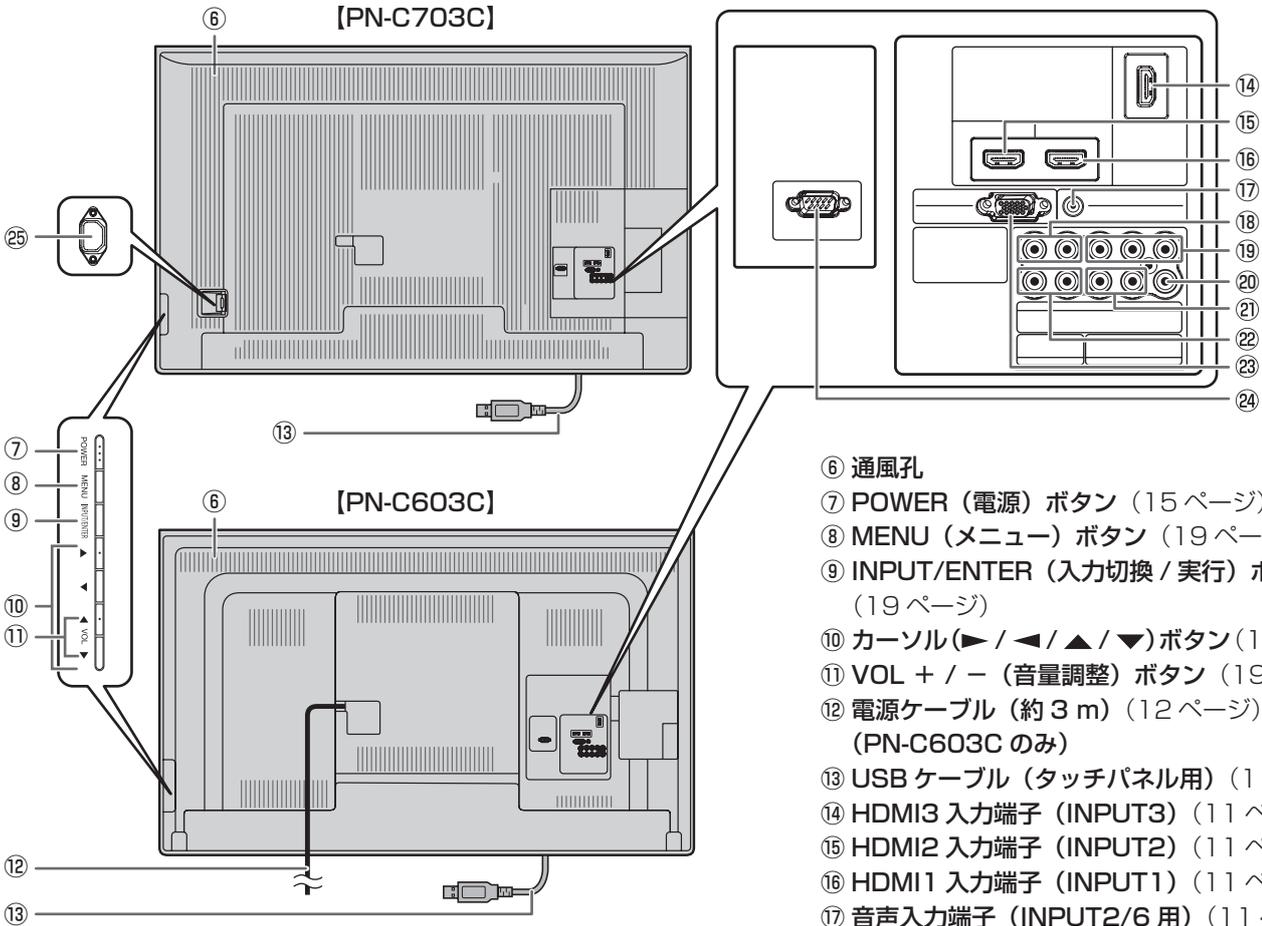
## ■ 前面



- ① リモコン受光部 (14 ページ)
- ② 電源ランプ (15 ページ)
- ③ スピーカー

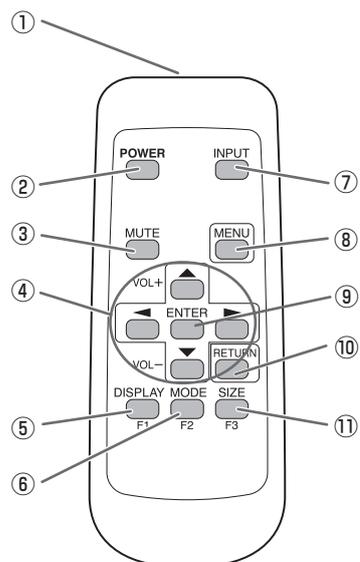
- ④ 赤外線受発信部
- ⑤ トレー (37 ページ)

## ■ 背面



- ⑥ 通風孔
- ⑦ POWER (電源) ボタン (15 ページ)
- ⑧ MENU (メニュー) ボタン (19 ページ)
- ⑨ INPUT/ENTER (入力切換 / 実行) ボタン (19 ページ)
- ⑩ カーソル (▶ / ◀ / ▲ / ▼) ボタン (19 ページ)
- ⑪ VOL + / - (音量調整) ボタン (19 ページ)
- ⑫ 電源ケーブル (約 3 m) (12 ページ)  
(PN-C603C のみ)
- ⑬ USB ケーブル (タッチパネル用) (11 ページ)
- ⑭ HDMI3 入力端子 (INPUT3) (11 ページ)
- ⑮ HDMI2 入力端子 (INPUT2) (11 ページ)
- ⑯ HDMI1 入力端子 (INPUT1) (11 ページ)
- ⑰ 音声入力端子 (INPUT2/6 用) (11 ページ)
- ⑱ 音声入力端子 (INPUT4 用) (11 ページ)
- ⑲ AV コンポーネント入力端子 (INPUT4) (11 ページ)
- ⑳ AV ビデオ入力端子 (INPUT5) (11 ページ)
- ㉑ 音声入力端子 (INPUT5 用) (11 ページ)
- ㉒ 音声出力端子 (11 ページ)
- ㉓ D-sub 入力端子 (INPUT6) (11 ページ)
- ㉔ RS-232C 入力端子 (11 ページ)
- ㉕ 電源接続端子 (12 ページ) (PN-C703C のみ)

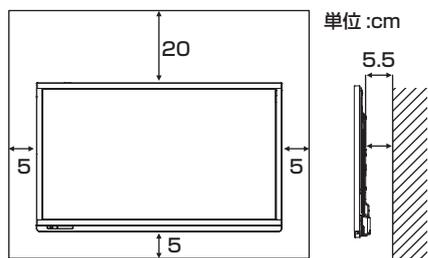
## ■ リモコン



- ① 発信部
- ② POWER (電源) ボタン (15 ページ)
- ③ MUTE (消音) ボタン (19 ページ)
- ④ VOL + / - (音量調整) ボタン (19 ページ)  
カーソル (▲ / ▼ / ◀ / ▶) ボタン
- ⑤ DISPLAY/F1 (状態表示) ボタン (19 ページ)
- ⑥ MODE/F2 (画質モード切換) ボタン (19 ページ)
- ⑦ INPUT (入力切換) ボタン (19 ページ)
- ⑧ MENU (メニュー表示) ボタン (19 ページ)
- ⑨ ENTER (実行) ボタン (19 ページ)
- ⑩ RETURN (戻る) ボタン (19 ページ)
- ⑪ SIZE/F3 (画面サイズ切換) ボタン (19 ページ)

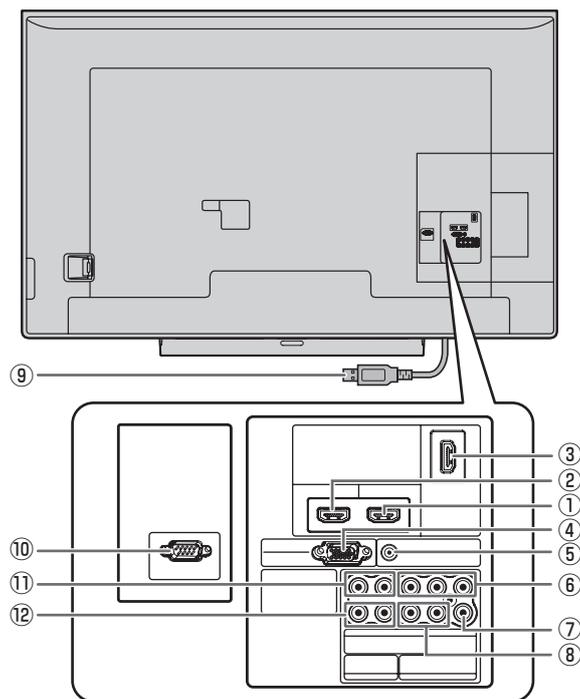
# 設置について

- 本機は屋内用です。
- VESA 規格に準拠したスタンドや取り付け金具が必要です。
- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際は  
お買いあげの販売店にご相談ください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術  
による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者  
にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わな  
いください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、  
損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。
- 移動するときなどは、本体側面と本体底面部を持ってくだ  
さい。画面やトレーを持たないでください。破損や故障、  
けがの原因となることがあります。
- 本機は周囲温度 5℃～35℃の範囲内でご使用ください。  
熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。



- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周  
囲温度が 5℃～35℃を超える場合は、ファンを設けるな  
ど、周囲温度が 5℃～35℃になるよう対処してください。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上が  
ると故障の原因となることがあります。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。
- 直射日光やライトなどの強い光が当たる場所で使用しな  
いください。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、  
正しく動作しない場合があります。
- 本機を 2 台以上接近して使用する場合は、赤外線受発信部  
が他のディスプレイの赤外線受発信部に影響を与えないよ  
うにしてください。

# 機器の接続



## ！ご注意

- 接続ケーブルの取り付け／取り外しは、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。
- 端子が破損・変形したケーブルを使わないでください。無理に接続すると故障の原因となる場合があります。

## ご参考

- タッチパネルを使用するときは、USB ケーブルをコンピュータに接続します。
- 接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。
- 「PC (INPUT6)」でコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。「その他」メニューの「画面調整」、「自動同期調整」で自動画面調整されます。
- 再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、本機の映像が音声から遅れる場合があります。再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とスピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。

### ① HDMI1 入力端子 (INPUT1)

### ② HDMI2 入力端子 (INPUT2)

### ③ HDMI3 入力端子 (INPUT3)

- 市販の HDMI ケーブル (HDMI 規格認証品) で接続します。
- HDMI から映像のみを入力し、音声をアナログで入力するときは、HDMI2 入力端子に接続し、「その他」メニューの「入力音声選択」で「HDMI+ 音声入力端子」を選択してください。「HDMI のみ」の場合、音声入力端子への接続は不要です。

### ④ D-sub 入力端子 (INPUT6)

- 市販の信号ケーブル (ミニ D-sub 15 ピン) で接続します。

### ⑤ 音声入力端子 (INPUT2/6 用)

- 市販の音声ケーブル (ミニステレオジャック) で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。

### ⑥ AV コンポーネント入力端子 (INPUT4)

- 市販のコンポーネントケーブル (RCA) で接続します。
- AV ビデオ入力端子として使用することができます。「Video」端子に接続し、「その他」メニューの「端子設定」で「VIDEO」に切り換えてください。

### ⑦ AV ビデオ入力端子 (INPUT5)

- 市販のビデオ映像ケーブル (RCA) で接続します。

### ⑧ 音声入力端子 (INPUT5 用)

- 市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。

### ⑨ USB ケーブル

- コンピューターでタッチパネルを使用するとき、この USB ケーブルを使ってコンピューターに接続します。付属の USB 延長ケーブル (約 3m) を使用して、延長することができます。

### ⑩ RS-232C 入力端子

- 市販の RS-232C クロスケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。

### ⑪ 音声入力端子 (INPUT4 用)

- 市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。

### ⑫ 音声出力端子

- 本機に入力された音声が出力されます。
- 市販の音声ケーブル (RCA) で接続します。
- 出力される音声は、入力モードにより異なります。
- 音量調整で音量が調整できます。

# 電源の接続

## ■ PN-C703C

### ! ご注意

- 電源コードは必ず付属または指定のものを使用してください。
- すべての接続を終えてから、電源を接続してください。



### 警告

#### アースを接続する。

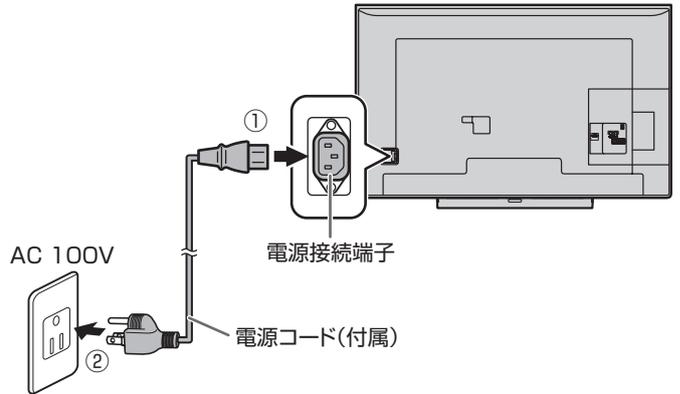
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。

本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

#### 電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

付属の電源コードはAC100V用です。指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

1. 電源コード（付属）を電源接続端子に差し込む。
2. 電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込む。



### ご参考

- AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJA104WJPZ) を使用してください。
- 電源コード（付属）は、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。(13 ページ)

## ■ PN-C603C



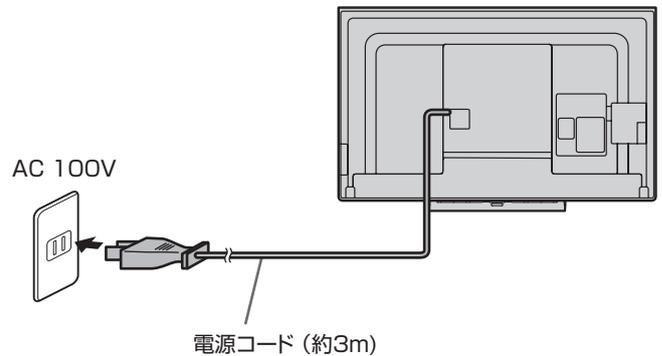
### 警告

#### 電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

### ! ご注意

- すべての接続を終えてから、電源を接続してください。

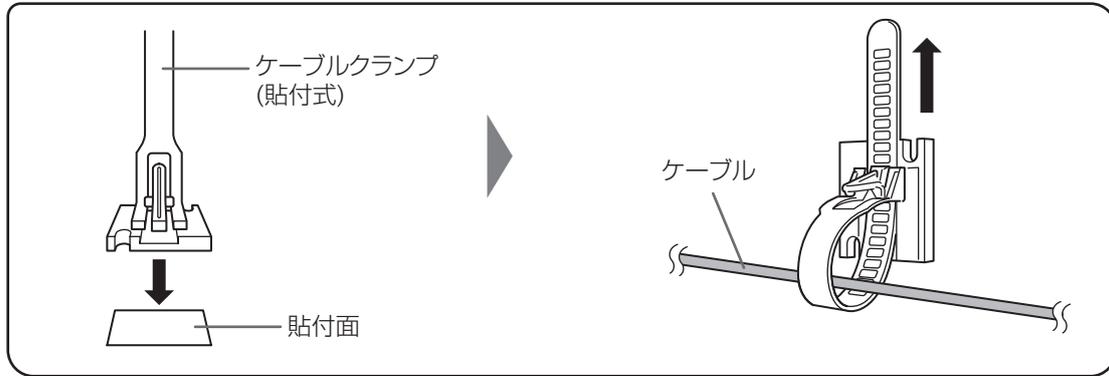


# ケーブル処理のしかた

電源コード、USB ケーブル、ディスプレイ後面に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプ（貼付式）で固定することができます。

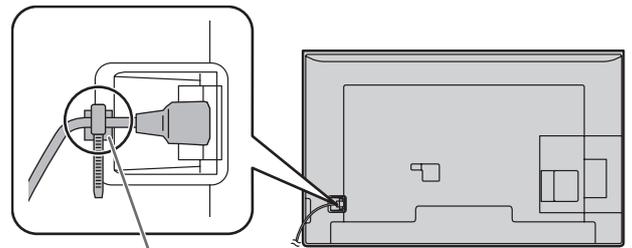
## ！ご注意

- 付属のケーブルクランプは、平らな面に貼り付けてください。通風孔などには貼り付けしないでください。
- 貼付面のほこりなどを取り除いてから、貼り付けてください。



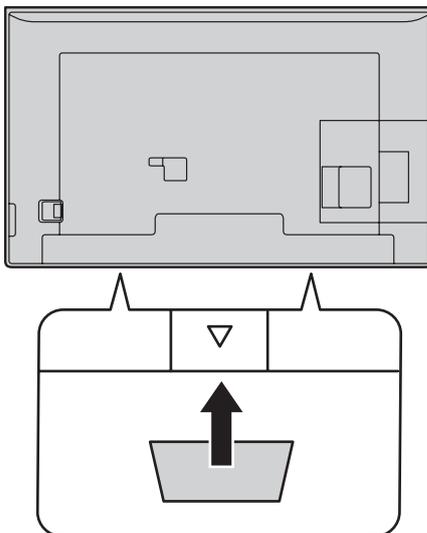
## ■ PN-C703C

電源コード（付属）は、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。固定するときは、電源コード（付属）の端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コード（付属）を無理に曲げないようにしてください。



ケーブルクランプ貼り付け位置

# スタンド穴保護用カバーの付けかた



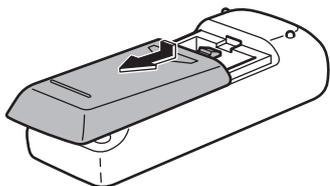
設置終了後、付属のスタンド穴保護用カバーを貼ってください。

1. シールをはがし、本体に貼る。

# リモコンの準備

## 電池の入れかた

1. カバーを軽く押し下げ、矢印の方向へ押す。



2. 付属の乾電池（単3形×2本）をリモコンに入れる。

リモコン内部の表示に従って、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。

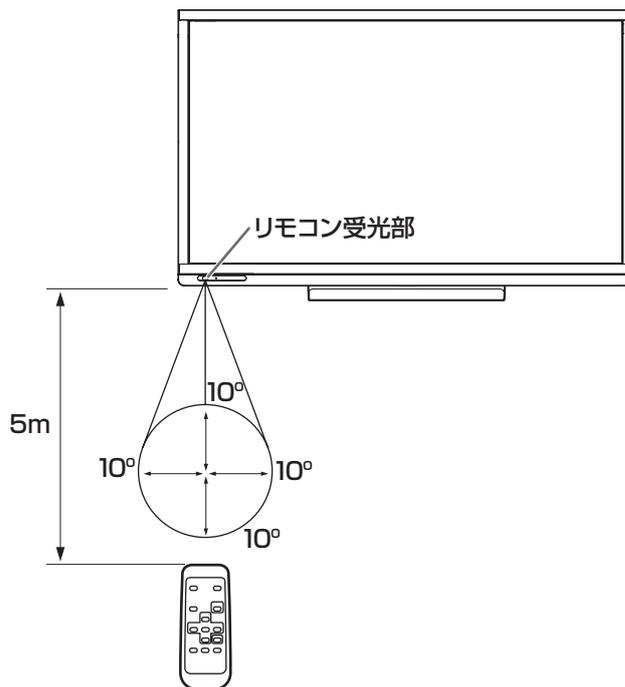
3. カバーを元に戻す。

### ご参考

- 電池が消耗したときは、早めに新しい乾電池（市販品）と交換してください。
- 付属の乾電池（単3形×2本）は保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

## リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約 5m、上下左右に約 10° 以内です。



### ご参考

- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

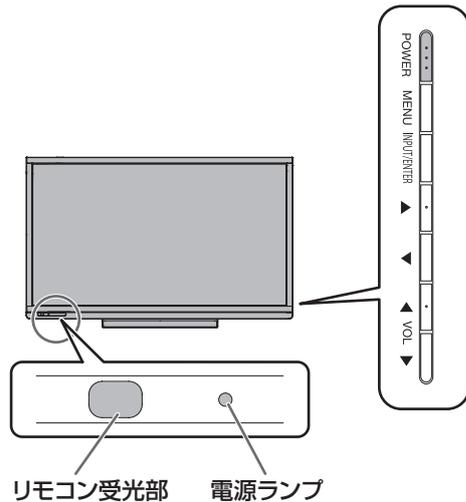
# 電源の入／切をする

## ！ご注意

- すべての接続を終えてから、電源を入れてください。
- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。
- 本体の POWER（電源）ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微小な電力が消費されています。

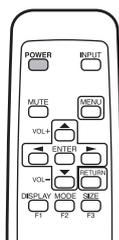
## 電源を入れる / 切る

1. 本体の側面の POWER（電源）ボタンを押し、電源を入れる。  
電源ランプが緑色に点灯します。



電源ランプの状態	本機の状態
消灯	電源「切」
緑色点灯	動作状態
赤色点灯	待機状態

2. リモコンの POWER（電源）ボタンで電源を入 / 切する。  
本体のリモコン受光部（14 ページ）に向けて、リモコンの POWER（電源）ボタンを押します。



## ！ご注意

- 電源コードの抜き差しや、ブレーカーによる電源の切／入を行った場合、システムの起動が遅くなる場合があります。
- 電源の切／入は、必ず約5秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

# タッチ操作

## タッチ操作

本機で使用できるタッチ操作は、OS やアプリケーションにより異なります。また、そのタッチ操作による働きも異なります。詳しくは、Windows のヘルプやアプリケーションの説明書でご確認ください。

OS	Windows 8/8.1	Windows 7
タッチ操作		
シングルタップ	○	○
ダブルタップ	○	○
スワイプ	○	○
画面端からのスワイプ	○	×
ドラッグアンドドロップ	○	○
フリック	○	○
プレスアンドホールド	○	○
スライド/パン	○	○
ズーム	○	○
プレスアンドタップ	×	○
ローテート	○	○

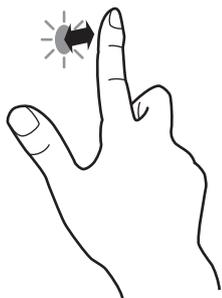
### ご参考

- Windows 7 でコントロールパネルの「ペンとタッチ」の「マルチタッチジェスチャとインクを有効にする」のチェックが外れている場合は、チェックしてください。
- ペンソフトでのタッチペンの使いかたは、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。

## ■ 指/タッチペン共通の操作

### シングルタップ

マウスの左クリックとして動作します。  
指/タッチペンでタッチしてください。



### ダブルタップ

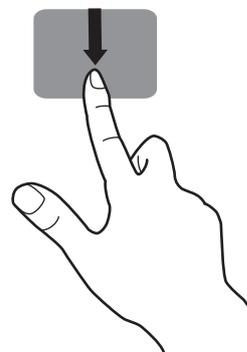
マウスのダブルクリックとして動作します。  
指/タッチペンで素早く 2 回タッチしてください。



指でダブルタップするときは、1 度目のタッチのあと、指を画面から十分に離してください。距離が十分でない場合、ダブルタップできません。

### スワイプ

指/タッチペンで触れたあと、離さないまま移動し止めます。



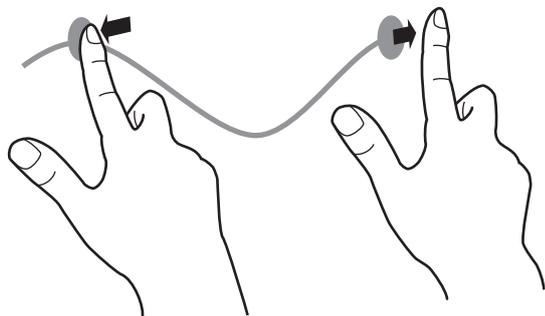
### 画面端からのスワイプ

画面端を指/タッチペンで触れたあと、離さないまま横に移動し止めます。



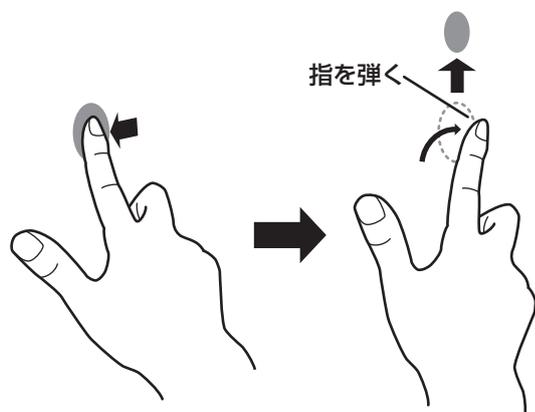
### ドラッグアンドドロップ

マウスのドラッグアンドドロップとして動作します。  
指/タッチペンで触れたあと、離さないまま移動します。移動が完了すると、指/ペンを離します。



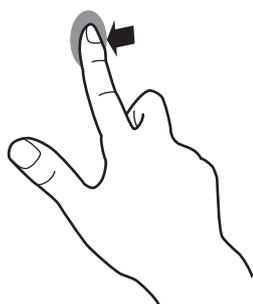
### フリック

指/タッチペンを行いたい機能がある方向へ弾くように移動させます。



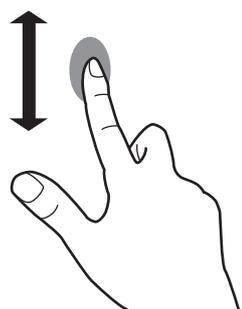
### プレスアンドホールド

マウスの右クリックとして動作します。  
指/タッチペンをしばらく押さえてから、指/タッチペンを離します。



### スライド/パン

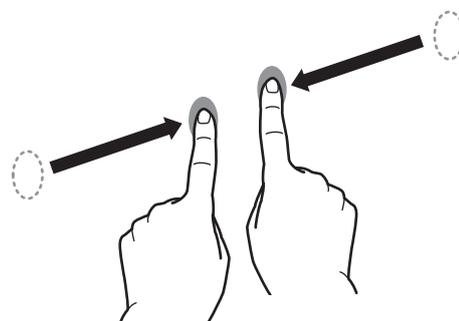
指/タッチペンを触れたまま動かし、画面をスクロールさせます。



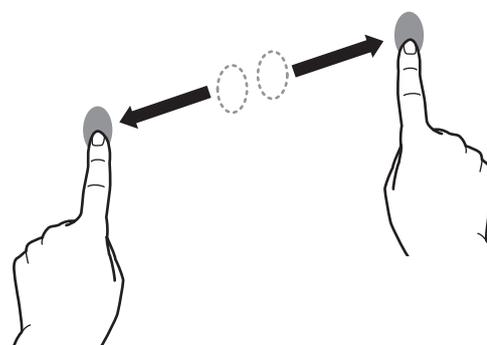
## ■ 指の操作

### ズーム

拡大/縮小ができる画面で使います。  
2本の指で画面に触れ、そのまま2本の指を近づけると、画面が縮小します。離すと画面を拡大します。



縮小



拡大

### プレスアンドタップ

マウスの右クリックとして動作します。  
1本の指で画面を触れたまま、もう1本の指で画面をシングルタップします。



## タッチ操作

### ローテート

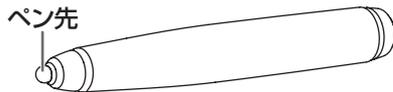
回転表示ができる画面で使います。回転する中心点を1本の指で触れます。その指はそのまま動かさず、もう1本の指で回転させる方向に指を動かします。



### ご参考

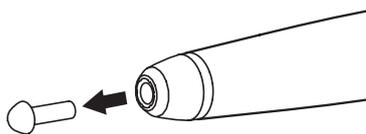
- 以下の場合、正しく動作しない場合があります。
  - タッチ動作が素早いとき
  - 2点間の距離が小さいとき
  - 2点が交差するとき
- タッチペンで操作することはできません。

## タッチペンについて



### ご参考

- ペン先が消耗・破損したときは、ペン先を交換してください。ペン先の購入については、お買いあげの販売店にご相談ください。



## その他の機能について

Windows 8/8.1 では、入力パネルの機能が使えます。Windows 7 では、タッチポインター、入力パネルの機能が使えます。それぞれの機能については、Windows のヘルプを参照してください。

### タッチポインター：

タッチした付近にマウスのような半透明の画像が表示されます。その画像の左/右ボタンをクリックすると、マウスの左/右クリックと同じ動きをします。

### 入力パネル：

画面上にソフトウェアキーボードと手書き認識を持つ入力パネルが表示されます。

Windows 7 (Starter は除く) /8/8.1 で Microsoft Office のインク機能を利用することができます。手書きのコメントを書いたり、手書き認識をすることができます。詳細は、Microsoft Office のヘルプを参照してください。

## 使用上のご注意

- タッチペンは、タッチパネルの操作以外に使用しないでください。
- ペン先を強く押さないでください。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- タッチ時にタッチペンを倒し過ぎると、タッチ位置が正しく検出できない場合があります。
- 画面の端で入力できない場合は、タッチペンをゆっくり動かしてください。
- インバーター蛍光灯が近くにある場合、正しく動作しない場合があります。
- タッチペンのペン先に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷つく原因となります。
- ログイン時の画面でペンの位置がずれる場合があります。その場合は、キーボードやマウス等で操作してください。
- USB ケーブルが抜けた場合、USB ケーブルを接続し直してもタッチパネルが正しく動作しない場合があります。その場合は、コンピューターを再起動してください。
- ペン先や指を画面から離すときは、十分に離してください。距離が不十分な場合、画面に触れていなくてもタッチと認識されます。
- キャリブレーション (位置合わせ) は自動で行われます。

## イレーザーについて

イレーザーはペンソフトで使用します。イレーザーの使いかたは、ペンソフト取扱説明書をご覧ください。

### !ご注意

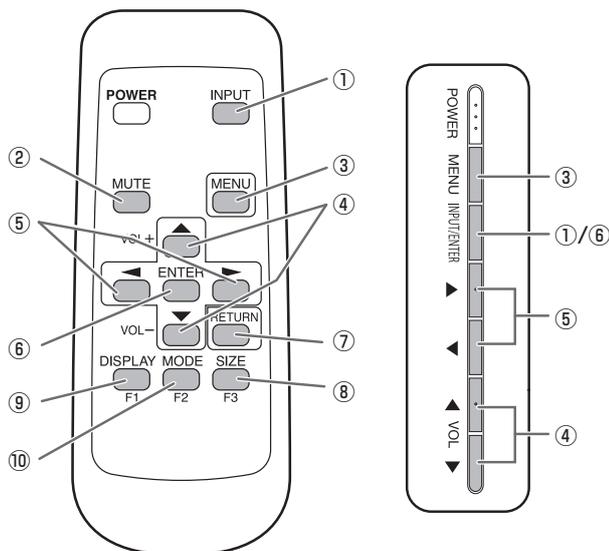
- イレーザーは、布の面を画面にゆっくりと接触させてください。布以外の面が画面に触れると、画面が傷つく原因となります。
- 画面と接触する面に汚れや異物が付いている場合は、取り除いてください。画面が傷つく原因となります。

# 基本的な操作

## リモコン / 本機のボタンで操作する

### ■リモコン

### ■本機のボタン



#### ① INPUT (入力切替)

メニューが表示されます。▲▼で入力モードを選び、ENTERで決定します。

入力モード	映像
HDMI1	HDMI1 入力端子 (INPUT1)
HDMI2	HDMI2 入力端子 (INPUT2)
HDMI3	HDMI3 入力端子 (INPUT3)
入力4	AV コンポーネント入力端子 (INPUT4) ※
入力5	AV ビデオ入力端子 (INPUT5)
PC	D-sub 入力端子 (INPUT6)

※ 入力4は、AV ビデオ入力端子として使用することができます。(11 ページ)

- 入力モードの切り換えに合わせて、タッチパネルとの接続も切り換わります。
- 音声は INPUT1 から INPUT6 のそれぞれの端子に対応した音声入力端子が選択されます。

#### ② MUTE (消音)

音声を一時的に消します。  
もう一度押すと元の音量に戻ります。

#### ③ MENU (メニュー表示)

メニューが表示されます。  
メニューについて詳しくは 21 ページを参照してください。

#### ④ VOL + / - (音量調整) / カーソル

メニューが表示されていないときに、▲や▼を押すと音量メニューが表示され、音量を調整します。

※ 音量メニューを表示したあと、約 3 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

各種設定を行うときは、カーソルを上下に動かします。

#### ⑤カーソル

各種設定を行うときに、カーソルを左右に動かします。

#### ⑥ ENTER (実行)

設定を確定します。

#### ⑦ RETURN (戻る)

前の画面に戻ります。

#### ⑧ SIZE/F3 (画面サイズ切替)

メニューが表示されます。▲▼で画面サイズを選びます。(20 ページ)

「色調整」設定時に使用します。(22 ページ)

#### ⑨ DISPLAY/F1 (状態表示)

入力信号や入力端子を確認することができます。

- 約 5 秒経過すると、表示は自動的に消えます。

「色調整」設定時に使用します。(22 ページ)

#### ⑩ MODE/F2 (画質モード切替)

押すたびに以下の順で「画質モード」(22 ページ)を切り換えます。

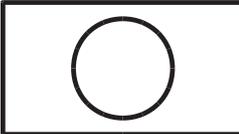
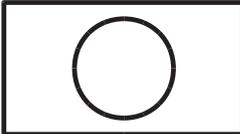
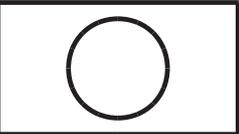
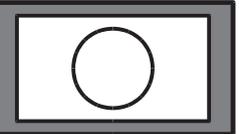
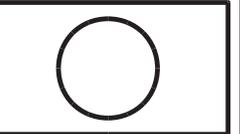
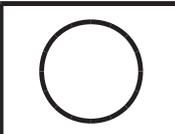
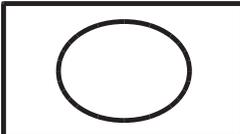
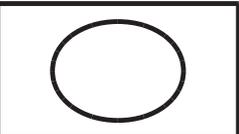
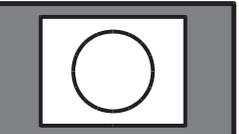
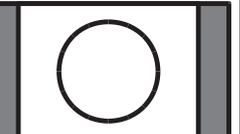
PC ※ → ダイナミック → ダイナミック (固定) → 標準 → 映画 → PC ※ ...

※ 「PC」は、入力モードが「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「PC」の場合のみ。

「色調整」設定時に使用します。(22 ページ)

### ■ 画面サイズ切替について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。

入力信号	ワイド ※ <sup>1</sup>	アンダースキャン ※ <sup>2</sup>	Dot by Dot	ノーマル
<b>16 : 9 映像</b>  1920 × 1080、 1280 × 720 など	 画面いっぱいに映し ます。	 入力信号どおりの映像 で映します。 入力信号の端まで表示 することができます。 ※ <sup>3</sup>	 入力信号の解像度どお りのパネル画素数で映 します。	 入力信号の縦横比をく ずさずに、画面いっぱ いに映します。
<b>16 : 9 以外の映像</b>  640 × 480、 800 × 600、 1024 × 768、 1280 × 1024 など	 画面いっぱいに映し ます。	 入力信号どおりの映像 で映します。 入力信号の端まで表示 することができます。 ※ <sup>3</sup>	 入力信号の解像度どお りのパネル画素数で映 します。	 入力信号の縦横比をく ずさずに、画面いっぱ いに映します。

※<sup>1</sup> 「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「PC」の場合、「ワイド」は「アンダースキャン」と同じ表示になります。

※<sup>2</sup> 「入力5」の場合、「アンダースキャン」は「ワイド」と同じ表示になります。

※<sup>3</sup> ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。  
このようなときは、画面サイズ切替を「ワイド」にしてください。

#### ご参考

- ・ 営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切替機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- ・ オリジナル映像（外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像）の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ・ ワイド映像でない通常（4 : 3）の映像を、画面サイズ切替機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- ・ 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切替機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・ オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

# 各種設定メニュー

## メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、22～24ページをご覧ください。

### ！ご注意

- メニューなどの表示中に、電源を切らないでください。設定内容が初期化される場合があります。

## ■ 操作例

(「映像調整」メニューの「コントラスト」を調整する。)

1. **MENU** を押し、メニュー画面を表示する。



2. **◀ ▶** で「映像調整」メニューを選ぶ。
3. **▲ ▼** で「画質調整」を選び、**ENTER** を押す。
4. **▲ ▼** で設定項目（「コントラスト」）を選ぶ。



5. **◀ ▶** で設定を調整する。



6. **MENU** を押し、メニュー画面を閉じる。

### ご参考

- メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

### メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

#### ■ 映像調整

##### 画質モード

映画やコンピューターのモニター画像などそれぞれのシーンに応じた画像や音声に設定を切り換えます。

PC..... コンピューターの使用に適した設定を行います。

ダイナミック ..... コントラストを高く調整し、スポーツ動画などに適した設定を行います。

ダイナミック (固定)..... 「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。

この設定のときは、設定の変更はできません。

標準 ..... 明るい室内で表示するのに適した設定を行います。

映画 ..... 映画の上映に適した設定を行います。

##### 画質調整

##### 画質改善

画質を改善するための処理を行います。

高.....「中」以上のレベルで鮮明な画像処理により画質を向上させます。

中.....鮮明な画像処理により画質を向上させます。

しない.....画像処理を行いません。

「画質改善」の画像処理の効果は、特定の画像には適さない場合があります。その場合は、「中」または「しない」に設定を変更してください。

##### 明るさ

バックライトの明るさを調整します。

##### コントラスト

画像のコントラストを調整します。

##### 黒レベル

画像の明るさを調整します。

##### 色の濃さ

色の濃さを調整します。

##### 色あい

肌色のトーンを調整します。◀で赤色に、▶で緑色にトーンを調整します。

##### 画質

画像のシャープさを調整します。

##### 倍速駆動

動きの速い画像を表示するときに使用します。

##### デジタル NR (Noise Reduction)

画面上のノイズを低減し、鮮明な画像に調整します。

設定を強くするほどノイズは少なくなりますが、動画がぼける場合があります。

##### 画面サイズ

SIZE ボタンを押した設定と同じ設定を行います。設定内容に関しては 20 ページをご覧ください。

##### 色調整

画像の色調を詳細に設定します。

◀ ..... 白色を緑色のトーンに調整します。

◻ ..... 白色を赤色のトーンに調整します。

◀ ..... 白色を青色のトーンに調整します。

▶ ..... 白色を黄色のトーンに調整します。

F1 ..... 設定画面の表示 / 非表示を設定します。

F2 ..... 最後に保存された設定に従って、画像調整を行います。

F3 ..... 設定画面を閉じます。

ENTER ..... 現在の設定を保存し、設定を終了します。

##### リセット

「映像調整」メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

画質モード、画面サイズは戻しません。また「明るさ」、「コントラスト」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」、「画質」は、現在選択している画質モードの値のみを戻し、選択していない画質モードの値は戻しません。

## ■ 音声調整

### 音声設定

現在選択している画質モードごとに設定します。

#### 高音

高音の音量を調整します。

#### 低音

低音の音量を調整します。

#### バランス

音声の左右のバランスを調整します。

### リセット

現在選択している画質モードの「音声調整」メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

## ■ 省エネ

### スタンバイモード

「スタンダード」にすると電源待機状態からの起動時間が短くなります。ただし、電源待機時の消費電力が増えます。「ローパワー」にすると電源待機時の消費電力を減らすことができます。ただし、電源待機状態からの起動時間が長くなります。

### 無信号オフ

画像信号を受信していない状態が 15 分続いた場合、自動的に電源待機状態になります。電源待機状態になる 5 分前から、残り時間が分ごとに表示されます。初期値は「しない」です。「する」に設定した場合、接続したコンピューターがスリープ状態になった場合も、15 分後に自動的に電源待機状態になります。コンピューターがスリープ状態から復帰しても、動作状態に戻りません。リモコンで操作する必要があります。

### 無操作オフ

操作が一定時間以上行われない場合に、自動的に電源待機状態になります。

30 分 ..... 30 分操作しない場合に電源待機状態になります。

4 時間 ..... 4 時間操作しない場合に電源待機状態になります。

しない ..... この機能を使用しません。

電源待機状態になる 5 分前から、残り時間が分ごとに表示されます。

## ■ 設定

### HDMI オートワイド

HDMI 入力端子に接続した機器から受信した信号に基づいて、画像サイズの自動選択を使用するかどうかを設定します。

### HDMI CEC 連動

「する」にすると、HDMI CEC 機能が有効になります。外部機器の操作に連動して、本機の電源が自動的に入り、接続している HDMI 入力端子に切り換えます。また、本機の操作に連動して、外部機器の電源が切れます。ただし、RS-232C コマンドによる本機の操作については連動しません。意図しない動作となる場合、「しない」にしてください。

### 言語選択

メニュー画面の表示言語を設定します。

### ソフトウェアバージョン

現在のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

### オールリセット

すべての設定を工場出荷時に戻します。実行後に映像が乱れる場合、本体の POWER（電源）ボタンで電源を切り、電源コードの抜き差しによる電源の切/入を行ってください。

## 各種設定メニュー

### ■ その他

#### 音声出力

音量調整ができる音声出力を、内蔵のスピーカーか音声出力端子のどちらかに切り換えます。

固定 ..... スピーカーの音量が調整できます。音声出力端子の音量は調整できず、一定の音量で出力されます。

可変 ..... スピーカーは消音状態となり、音声出力端子の音量が調整できます。

#### 端子設定

入力4が選択されているときに、AV コンポーネント入力か AV ビデオ入力のどちらかを設定します。

#### 入力音声選択 (HDMI2 入力端子のみ)

HDMI2 入力端子の音声入力をアナログか HDMI のどちらかに切り換えます。

#### 画面調整 (D-sub 入力端子のみ)

##### 入力解像度

D-sub の入力信号が判別できないときに、手で信号に対する解像度の設定を行います。「1280x 768」「1360 x 768」から選択してください。

##### 自動同期調整

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。

D-sub 入力端子を使ってコンピューターの画面を初めて表示させるときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、自動調整を行ってください。自動同期調整したフェーズの値は保存されません。フェーズの再調整が必要な場合は、再度自動同期調整を行ってください。

##### 水平位置

映像の左右の位置を調整します。

##### 垂直位置

映像の上下の位置を調整します。

##### クロック

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。

縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。調整用パターン (25 ページ) を利用するときは、調整用パターンに

縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

##### フェーズ

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。

細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。

調整用パターン (25 ページ) を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。

##### リセット

「画面調整」メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

入力解像度、自動同期調整の設定は戻しません。

#### システム更新 (サービス専用)

ソフトウェアのアップデート時に使用します。(サービス用)

## コンピューター画面の調整について

### ■ 自動調整

「PC (INPUT6)」でコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。

1. 入力を「PC」に切り換え、調整用パターンを表示する。(下記)
2. **MENU** を押し、  で「その他」メニューを表示する。
3.   を押し、「画面調整」を選択し、**ENTER** を押す。
4.   を押し、「自動同期調整」を選択する。
5.   で「する」を選択する。
6. **ENTER** を押す。  
数秒後に自動調整が完了します。

#### ご参考

- ・ 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2～3 回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

### ■ 調整時の画面表示

画質や映像を調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、CD-ROM (付属) 内の調整用パターンを利用してください。

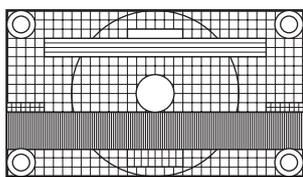
#### 調整用パターンの表示

Windows 7 を例に説明します。

1. CD-ROM (付属) をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「コンピューター」の CD-ROM を開く。
3. 「Monitor」フォルダーの「Adj\_utty.exe」をダブルクリックする。

調整用パターンが表示されます。

自動または手動による調整を行ってください。



4. 調整が終わったら、コンピューターの [Esc] キーを押す。  
調整用パターンが消えます。
5. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

#### ご参考

- ・ 使用するコンピューターの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

# 機能制限設定（特別機能）

操作を制限することができます。

1. 画面左に「F」が表示されるまで、を押す。
2. 「F」が表示されている間に    を順に押す。

特別機能		
電源ボタンロック	[ しない ]	]
リモコンロック	[ しない ]	]
本体ロック	[ しない ]	]
メニューロック	[ しない ]	]
実行		

3.   で項目を選択して、設定を行う。

## 電源ボタンロック

リモコンの POWER (電源) ボタンや本体の POWER (電源) ボタンによる操作を禁止することができます。

しない..... 操作可能。

全ロック..... リモコンおよび本体の操作を禁止。

本体ロック..... 本体の操作を禁止。

## リモコンロック

リモコンの操作を禁止することができます。

しない..... 操作可能。

する 1..... リモコンの操作を禁止。

する 2..... リモコンの POWER (電源) ボタン (電源の入 / 切) とカーソルボタン (音量調整) 以外の操作を禁止。

## 本体ロック

本体の POWER (電源) ボタン以外の操作を禁止することができます。

## メニューロック

リモコンおよび本体の MENU (メニュー) ボタンの操作を禁止することができます。

4.   で「実行」を選択し、 を押す。  
設定を確定し、通常画面に戻ります。

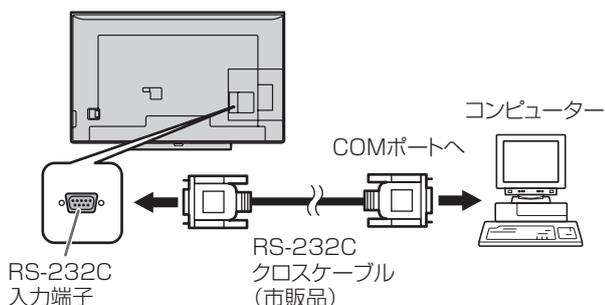
# コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

コンピューターのRS-232C (COMポート) を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。

## 接続のしかた

### ■ コンピューターと接続する

コンピューターのCOMポート (RS-232Cコネクタ) と本機のRS-232C入力端子をRS-232Cケーブル (クロス) で接続します。



コンピューターで本機を制御する場合は、「スタンバイモード」を「スタンダード」に設定してください。また「無信号オフ」と「無操作オフ」は「しない」に設定してください。「無信号オフ」や「無操作オフ」で電源待機状態になった場合、電源「入」状態へ移行ができません。(23 ページ)

## 通信仕様

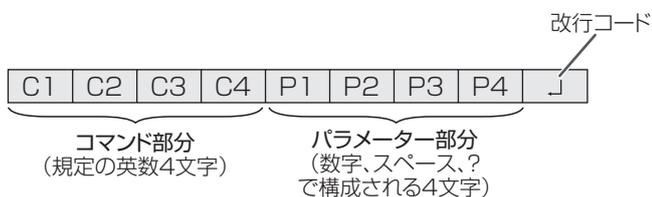
コンピューター側のRS-232C通信仕様を次のように設定してください。

ボーレート	9600bps	ストップビット	1ビット
データ長	8ビット	フロー制御	なし
パリティ	なし		

## 通信手順

### ■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM030\_

- ※ パラメーター部分が4文字に足りない場合は、スペース (「\_」) で4文字になるように調整してください。(「□」は改行コード (ODH))
- × VOLM30 □
- VOLM030\_ □

「????」または「? \_ \_ \_」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]  
VOLM???? ← コンピューターから本機へ (現在の音量設定値は?)  
30 ← 本機からコンピューターへ (設定値: 30)

- × VOLM\_ \_ \_ ? □
- VOLM ? \_ \_ \_ □

### ■ レスポンス

コマンドが正しく実行された場合

OK\_ ← 改行コード (ODH)

コマンドの終了後、返信されます。

コマンドが実行できなかった場合

ERR\_ ← 改行コード (ODH)

### ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信できず「ERR」が返信される場合があります。システムやソフトウェアで、コマンドの再送信 (リトライ) を行う等配慮してください。

### ■ 通信間隔について

- 必ずOK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。
- また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms以上の間隔を空けてください。

## RS-232C コマンド一覧表

### コマンド一覧表の見かた

- コマンド： コマンド部分 (27 ページ)  
 パラメーター： パラメーター部分 (引数) (27 ページ)  
 「\*」： 設定内容のカッコ内の数字を入力  
 「\_」： スペースを入力

### ご参考

- 電源待機状態で使用できるコマンドは、「電源制御」のみです。

下の表に掲載されていないコマンドについては、動作保証対象外です。

設定項目	コマンド	パラメーター	設定内容
電源制御	P O W R 0 _ _ _		電源待機状態へ移行。
	P O W R 1 _ _ _		電源「入」状態へ移行。
入力切換	I T G D _ _ _		トグルで入力端子を切り換えます。
	I A V D * _ _		INPUT1 ~ 6 端子に切り換えます。(1 ~ 6)
画質モード切換	A V M D 0 _ _		トグルで画質モードを切り換えます。
	A V M D 1 _ _		「標準」に切り換えます。
	A V M D 2 _ _		「映画」に切り換えます。
	A V M D 5 _ _		「ダイナミック」に切り換えます。
	A V M D 6 _ _		「ダイナミック(固定)」に切り換えます。
	A V M D 7 _ _		「PC」に切り換えます。
音量調整	V O L M * * *	_	音量を設定します。(0 ~ 100) (「音声出力」設定が「可変」の場合、メニューの設定値 (-100 ~ 0) に対して、パラメータ (0 ~ 100) が対応します。)
画面調整	H P O S * * *	_	映像の左右の位置を設定します。(000 ~ 180) (D-sub 入力のみ)
	V P O S * * *	_	映像の上下の位置を設定します。(000 ~ 120) (D-sub 入力のみ)
	C L C K * * *	_	該当映像のサンプリングクロックの周波数を設定します。 (000 ~ 180) (D-sub 入力のみ)
	P H S E * * *	_	該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。 (000 ~ 015) (D-sub 入力のみ)
画面サイズ※	W I D E 0 _ _		トグルで画面サイズを切り換えます。
	W I D E 7 _ _		「ノーマル」モードで表示します。
	W I D E 9 _ _		「ワイド」モードで表示します。
	W I D E 1 0 _ _		「Dot by Dot」モードで表示します。
	W I D E 1 1 _ _		「アンダースキャン」モードで表示します。
消音	M U T E 0 _ _		トグルで消音 / 消音解除を切り換えます。
	M U T E 1 _ _		消音します。
	M U T E 2 _ _		消音を解除します。

※「HDMI オートワイド」で自動的に画面サイズが変わった場合、現在の設定値を読み出すと、自動的に変更された設定値ではなく、手動で設定した値を返します。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。  
アフターサービスについては31ページをご覧ください。

## 映像も音声も出ない

- 電源は入っていますか。(15ページ)
- 入力切換は正しく選択されていますか。(19ページ)
- 外部機器を接続している場合、機器側が動作(再生)状態になっていますか。

## リモコンが動作しない

- 電池の極性(+、-)が逆になっていませんか。(14ページ)
- リモコンの乾電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(14ページ)
- 特別機能でリモコンの操作を禁止していませんか。(26ページ)

## 音が左右逆になる

### 片方しか音が出ない

- 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。(11ページ)
- 「音声調整」メニューの「音声設定」「バランス」の設定を確認してください。(23ページ)

## 映像は出るが音が出ない

- 消音になっていませんか。(19ページ)
- 音量調整が最小になっていませんか。(19ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は接続されていますか。
- 「その他」メニューの「音声出力」の設定は正しいですか。(24ページ)

## 映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。(34～35ページ)
- 「PC (INPUT6)」で使っている場合、画面の自動調整を行ってみてください。(25ページ)

## HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(34～35ページ)

## D-sub 入力端子の映像が正しく表示できない

- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(34ページ)

## 操作ボタンが効かない

### 画面に何も映らない

- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の電源を入れ直し、動作を確認してください。(15ページ)
- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。

## コンピューターの解像度が勝手に変わる

- グラフィックカードにより、コンピューターを接続したまま本機の電源を入れ直すと、解像度が640x480に変わる場合があります。以下の手順で解像度が1920x1080に戻ります。
  - 映像ケーブルを抜き差しする。
  - 「画面の解像度」で「検出」ボタンを押す。(Windowsの場合)
  - コンピューターを再起動する。

## タッチパネルが反応しない

- USB ケーブルは正しく接続されていますか。
- 付属のUSB延長ケーブルを使用してください。市販のUSBケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。また、付属のUSB延長ケーブルの長さより長くしてお使いになりたい場合は、リピーター付きUSBケーブルで延長してください。

## タッチパネルの反応が遅い

### 反応しない箇所がある

### 異なる場所にタッチされる

- 直射日光や強い光が当たっていませんか。本機は赤外線を利用したタッチパネルのため、正しく動作しない場合があります。
- 赤外線受発信部と操作するタッチペン・指の間に、障害物はありませんか。障害物があると正しく動作しません。タッチペンを持つ指や服の袖が画面近くにあっても正しく動作しません。
- 赤外線受発信部が汚れていませんか。汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- 約8mm×約8mmより細いものでタッチしても、赤外線検出できず正しく動作しない場合があります。
- コンピューター起動時やUSBケーブル接続時は、タッチパネルに触らないでください。タッチパネルに触れると、赤外線受発信部の素子不良として検出され、正しく動作しない場合があります。
- 2本のタッチペンを使用しているとき、正しく書けない場合があります。
  - ペン同士が近づいたとき。
  - ペンを斜めにして書いたとき。

## 電源ランプが赤色に点滅している

- ハードウェアの異常です。電源を切ったあと、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にて修理を依頼してください。

## 電源ランプが緑色に点滅している

- 本体の内部温度が高温になっています。温度が上昇した原因を取り除いてください。

## ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

## 故障かな?と思ったら

### 電源ランプが点滅している

#### 画面の隅に「モニター温度」と表示されている

- 温度異常を防止するために、本体の内部温度が高温になると、「モニター温度」と表示されます。
- さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態になります。(電源ランプは緑色が点滅します。)
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
  - 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(10 ページ)
  - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態になっていないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
  - 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

# アフターサービスについて

## ■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLEDバックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

## ■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

## ■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（29ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

### ご連絡していただきたい内容

- 品名：インフォメーションディスプレイ
- 形名：PN-C703C/PN-C603C  
（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

### 保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にお問い合わせください。

# 仕様

## 製品仕様

形名	PN-C703C		PN-C603C	
液晶表示素子	70V型ワイド(対角176.6cm)TFT液晶		60V型ワイド(対角152.5cm)TFT液晶	
最大解像度	1920×1080			
最大表示色	約1677万色			
画素ピッチ	水平0.802mm×垂直0.802mm	水平0.692mm×垂直0.692mm		
輝度(標準値)	300cd/m <sup>2</sup> ※1			
コントラスト比(標準値)	3000:1			
視野角	左右160°/上下160°(コントラスト比≥10)			
表示画面サイズ	横1538.9mm×縦865.6mm	横1329.1mm×縦747.6mm		
映像入力信号	アナログRGB(0.7Vp-p) [75Ω]、HDMI			
同期入力信号	水平/垂直セパレート(TTL:正/負)			
ビデオ信号方式	NTSC(3.58MHz)			
プラグ&プレイ	VESA DDC2B対応			
入力端子	PC/AV	HDMI(3系統)		
	PC	ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)		
	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)		
	AV	ビデオ映像	RCA(2系統) ※2	
		コンポーネント映像	RCA(Y, Cb/Pb, Cr/Pr)(1系統) ※2	
		音声	RCAピン(L/R)(2系統)	
シリアル(RS-232C)	D-sub9ピン(1系統)			
出力端子	音声	RCAピン(L/R)(1系統)		
スピーカー出力(内蔵 / 外部)	10W+10W/10W+10W 6Ω			
タッチパネル	検出方式	赤外線遮断方式		
	PC接続端子	USB(2.0準拠)(1系統)		
電源	AC100-240V、2.7A、50/60Hz ※3	AC100V、2.1A、50/60Hz		
使用温度条件 ※4	5~35℃			
使用湿度条件 ※4	20~80%(結露なきこと)			
消費電力(最大/電源待機時 ※5)	235W/0.5W	180W/0.3W		
外形寸法(突起部を除く)	幅約1633 mm×奥行約109 mm ×高さ約994.5 mm	幅約1408 mm×奥行約94.5 mm ×高さ約868 mm		
質量	約56 kg	約43 kg		
梱包時寸法/質量	幅約1802 mm×奥行約285 mm ×高さ約1129 mm/約68 kg	幅約1555 mm×奥行約280 mm ×高さ約980 mm/約55 kg		

※1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※2 ビデオ画像の1系統とコンポーネント画像を同時に使用することはできません。

※3 AC200V(50/60Hz)のコンセントを使用するときは、別売の電源コード(QACCJA104WJPZ)を使用してください。(PN-C703Cのみ)

※4 接続するコンピューター等の条件も確認し、それらすべてを満たす条件内でご使用ください。

※5 「スタンバイモード」が「ローパワー」の場合。

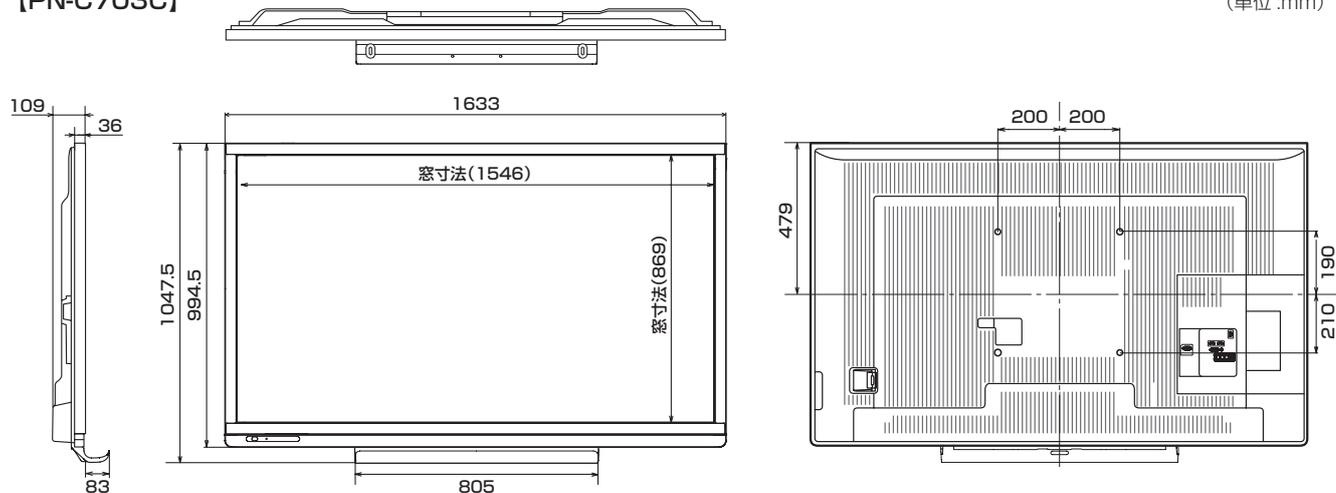
「スタンバイモード」が「スタンダード」の場合は、PN-C703C：23W以下、PN-C603C：22W以下。

■ 寸法図

数値はおよその値です。

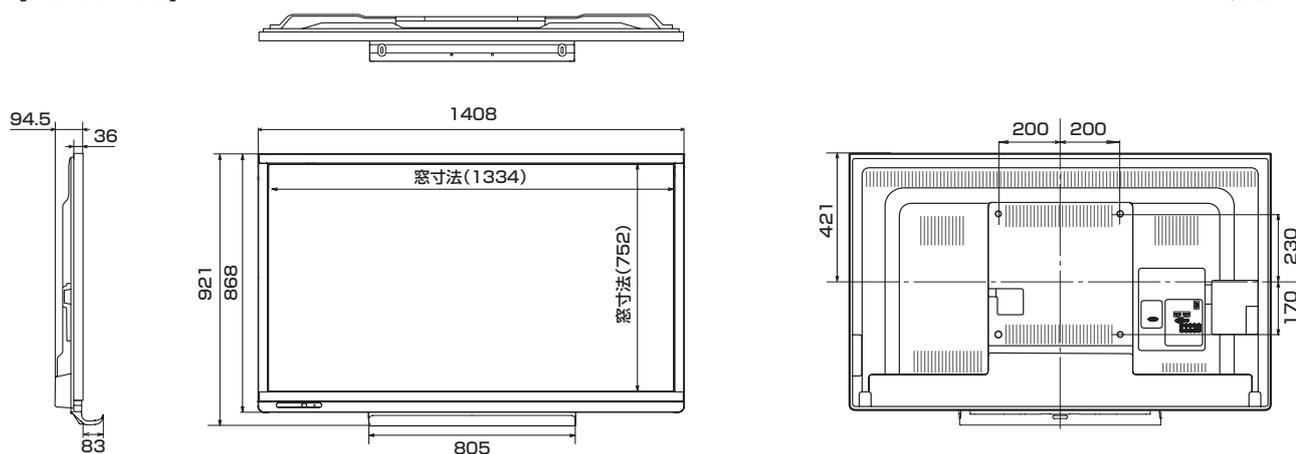
【PN-C703C】

(単位 :mm)



【PN-C603C】

(単位 :mm)



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ +8 ~ 10mm のものを使用してください。

## ■ PC 対応信号タイミング

※ 接続するコンピューターによっては、下記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル	アナログ
					HDMI	(D-SUB)
VESA	640×480	31.5	60	25.175	○ <sup>*1, *2</sup>	○
		37.9	72	31.5	○	○
		37.5	75	31.5	○	○
	800×600	35.1	56	36.0	○	○
		37.9	60	40.0	○	○
		48.1	72	50.0	○	○
		46.9	75	49.5	○	○
	848×480	31.0	60	33.75	○	○
	1024×768	48.4	60	65.0	○	○
		56.5	70	75.0	○	○
		60.0	75	78.75	○	○
	1152×864	67.5	75	108.0	○	○
	1280×768	47.8	60	79.5	○	○
		60.3	75	102.25	○	○
	1280×800	49.7	60	83.5	○	○
	1280×960	60.0	60	108.0	○	○
	1280×1024	64.0	60	108.0	○	○
		80.0	75	135.0	○	○
	1360×768	47.7	60	85.5	○	○
1400×1050	65.3	60	121.75	○	○	
1600×1200 <sup>*3</sup>	75.0	60	162.0	○	○	
1920×1200 <sup>*3</sup>	74.0	60	154.0	○	○	
ワイド	1280×720	44.7	60	74.4	○	○
	1920×1080	67.5	60	148.5	○	○
US TEXT	720×400	31.5	70	28.3	○	○
Sun <sup>*4</sup>	1024×768	48.3	60	64.13	○	○
		56.6	70	74.25	○	○

※ 1 Dot by Dot/ アンダースキャン以外では一部の表示です。

※ 2 本信号使用時はリモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。

※ 3 Dot by Dot ではワイド同様に表示します。

※ 4 Sun の各周波数は参考値です。

HDMI 入力の場合、接続するコンピューターによっては、RGB レンジが合わず、黒色が浮く場合があります。その場合は、コンピューターのビデオカードをフルレンジの設定にするか、「コントラスト」を「40」、「黒レベル」を「-15」に調整してください (22 ページ)。

## ■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数(Hz)	HDMI	コンポーネント
1920×1080p	24	○	—
	50	○	○
	59.94	○	○
	60	○	○
1920×1080i	50	○	○
	59.94	○	○
	60	○	○
1280×720p	50	○	○
	59.94	○	○
	60	○	○
720×576p	50	○※1	—
720×480p	59.94	○※1	—
	60	○※1	—
640×480p(VGA)	59.94	○※1、※2	—
	60	○※1、※2	—
720(1440)×576i	50	○	—
720(1440)×480i	59.94	○	—
	60	○	—

※ 1 本信号使用時はリモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。

※ 2 Dot by Dot/ アンダースキャン以外では一部の表示です。

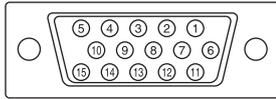
## ■ DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。

DDCとは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡します。この機能は、コンピューターがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

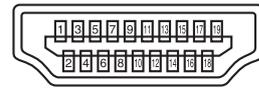
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

■ D-sub 入力端子ピン配列  
(ミニ D-sub 15 ピン)



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

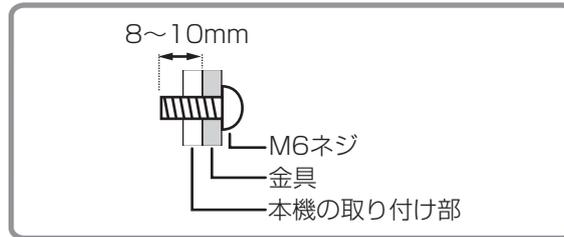
■ HDMI 入力端子のピン配列  
(HDMI™ Connector)



番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロック-
3	TMDSデータ2-	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	N.C.
5	TMDSデータ1シールド	15	SCL
6	TMDSデータ1-	16	SDA
7	TMDSデータ0+	17	DDC/CEC GND
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V
9	TMDSデータ0-	19	ホットプラグ検知
10	TMDSクロック+		

# 設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

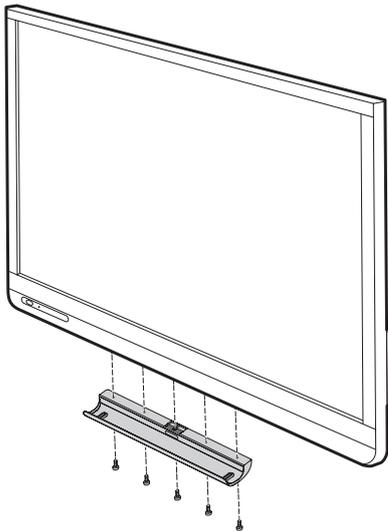
- 設置や取り外し、移動の際は、3人以上で行ってください。
- 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- VESA規格の金具の取り付けには、M6ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+8～10mmのものを使用してください。



- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- 後面のVESAホール以外のネジ穴を設置に使わないでください。

## ■ トレーの付けかた

トレーを、トレー取付ネジM3（付属）5個で固定します。



# シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
ビジネスソリューション事業推進本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2015.4)

PN-C703C-C603C M JA15D(1)